

# 日本の文化遺産等の世界への発信について

【担当省庁】文部科学省

日本文化の世界への発信やインバウンド強化を図るため、国内暫定リストの門戸を開放し、以下の項目を世界遺産暫定一覧表に追加記載していただきたい。

○「天橋立」

平成20年度に世界遺産暫定一覧表候補のカテゴリ I a 評価

○「宇治茶の文化的景観」

世界遺産登録の可能性を明らかにするためのイコモス調査に日本茶代表として宇治茶が選出され、ユネスコ世界遺産センターからも農業遺産研究プロジェクトに係る協働研究の申し出があるなど、その評価を高めている。

【現状・課題等】

天橋立及び宇治茶の文化的景観が世界文化遺産として国際的に認められる価値(顕著な普遍的価値)を有することを証明するための調査を進め、暫定一覧表への掲載を目指す。

- ▶ 世界遺産への登録は、まずは暫定一覧表に記載される必要がある。
- ▶ しかし、平成18・19年度以降公募がなく追加記載されていない。(現状8件)

【世界遺産暫定一覧表】

古都鎌倉の寺院・神社ほか	金を中心とする佐渡鉱山の遺跡群
彦根城	百舌鳥・古市古墳群→登録へ勧告※1
飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群	平泉一仏国土を表す建築・庭園及び考古学的遺産群一
北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群	奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島※2

※1平成31年度ユネスコ世界遺産委員会に登録勧告 ※2平成31年2月に推薦書をユネスコに提出  
▶ 日本文化の世界への発信強化、インバウンド強化につなげるために、暫定一覧表への早期追加が必要

▶ 世界遺産一覧表記載物件の状況 (括弧内は暫定一覧表記載)

	日本	世界
文化遺産	18(7)	845
自然遺産	4(1)	209
複合遺産	0(-)	38
合計	22(8)	1,092

京 都 府 の担当課	文化スポーツ部 文化政策室(075-414-4217) 農林水産部 農産課(075-414-4944)
---------------	--

【京都府の取組】

■天橋立の世界遺産登録に向けた取組

▶新・世界遺産事業費 2,000千円

天橋立の世界文化遺産登録に向け、普遍的価値を強くアピールできる項目について、調査研究を進め強化するとともに、シンポジウム開催を通じて世界遺産登録への取組を広く周知

▶これまでの経過

- ・H 19.9 文化庁へ暫定一覧表候補資産提案書提出
- ・H 20.9 文化庁審議結果発表(暫定一覧表記載ならず。カテゴリ I a)
- ・H 25.11 宮津天橋立が国の重要文化的景観に選定
- ・H 26.7 世界遺産暫定一覧表記載資産候補提案(原案)文化庁へ提出
- ・H 28.6 成相寺旧境内(宮津市)が国の史跡に指定
- ・H 29.4 天橋立を含む「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」が日本遺産に認定
- ・H 31.2 「天橋立世界遺産講演会」を開催

■宇治茶の文化的景観の世界遺産登録に向けた取組

▶宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業費 8,000千円

世界遺産委員会における研究会議で宇治茶のPRなどを実施し、宇治茶の文化的景観の価値を強く発信

▶近年の経過

- ・H 28.11 アジア茶産地の景観の世界遺産登録の可能性を明らかにするためのイコモス調査に日本茶代表として宇治茶が選出され、調査論文をイコモスへ提出→前イコモス文化的景観国際委員会委員長から高評価を受ける。
- ・H 28~30 前イコモス文化的景観国際委員会委員長や中国ICOMOS関係者を招聘し、国内有識者との国際カンファレンスを開催
- ・H 30.11 ユネスコ世界遺産センターから、農業遺産研究プロジェクトの協働研究に、世界遺産に登録されている「ブルゴーニュ地方のワイン」や「南米コロンビアのコーヒー」等とともに、宇治茶も参画するよう要請
- ・H 31.3 重要文化的景観選定に向けて、和束町が景観条例を制定(H31年3月町議会)するとともに、文化庁の補助事業を活用し調査を開始(H31年~)
- ・R 1 予定 世界遺産委員会やICOM京都大会2019において、「宇治茶の文化的景観」をPR